

社会福祉法人さぽうと21

つぼ い いちろう じんこ  
**2018年度「坪井一郎・仁子 学生支援プログラム」**  
**募集要項**

概要	<p><b>坪井一郎・仁子 学生支援プログラム</b>（通称：坪井基金）</p> <p>東洋熱工業株式会社の創業者である 故 坪井一郎 様・仁子 様 ご夫妻のご遺贈をもとに、2005年に開始した学生支援プログラムです。</p> <p>将来日本国内外で活躍が期待される優秀な人物で、経済的理由により学業遂行が困難な <b>難民</b> やその子弟、<b>日系定住者</b> や <b>中国帰国者</b> の子弟等を対象としています。</p> <p style="text-align: right;">（※ 留学生は対象になりません）</p>		
	<p>応募期間 <b>2017年9月1日（金）～11月1日（水）</b> ※ 必着</p>		
応募資格	<p>日本での在留資格</p> <p>日本在住の外国籍・元外国籍の学生で、下記の①・②に該当する者</p> <p>① 難民（インドシナ難民・条約難民・第三国定住難民）及び その子弟</p> <p>② 中国帰国者 三世、日系人（中南米など）二世・三世</p> <p>※ 上記と同等の事情があるとみなされる、外国籍・元外国籍の学生も対象とします。</p> <p>※ 在留資格が「留学」の学生は、原則として支援の対象となりません。</p>		
	<p>学年</p> <p>2018年4月に <b>大学3・4年生</b>、または <b>大学院</b> 在籍・進学見込み の者</p> <p>※ 主に理系の方を優先しますが、専攻分野の指定はありません。</p> <p>※ 大学院 在籍・進学予定者については、修士課程を優先します。</p>		
給付内容	<p>期間 <b>2018年4月～2019年3月</b></p>	<p>人数 <b>10名程度</b></p>	
	<p>金額</p> <p>■ 大学院生：60～100万円／年</p> <p>■ 大学生：40～80万円／年 ※ 返済の義務はありません</p>		

社会福祉法人さぽうと21

1979年に設立された「インドシナ難民を助ける会」（現 AAR Japan [認定 NPO 法人難民を助ける会]）の国内事業を引き継ぎ、1992年に活動を開始。主に難民や中国帰国者、日系定住者及びその子弟等の自立に向けた支援を行っています。



# 応募方法

応募期間：2017年 **9月1日(金)～11月1日(水)** ※必着

## 1 応募書類提出

※必着※

## 2 一次選考

(書類)

## 3 二次選考

(面接)

### < 応募書類 >

提出方法：レターパック、簡易書留かんいしかきとめ(郵便局窓口)、持ち込み

#### ① 応募用紙

※ ホームページよりダウンロード可  
[http:// support21.or.jp](http://support21.or.jp)

#### ④ 住民票

※ 同居する家族全員分  
※ 国籍、在留資格、続柄 明記

#### ② エッセイ

来年度の研究計画について

※ 800～1000字程度(日本語)  
※ A4横書き・用紙指定なし  
※ 必ず氏名を記入すること

#### ⑤ 収入の状況を示す書類

※ 以下、aかbのいずれかを提出  
※ 生計を同一にする家族(学生以外)分  
a 課税証明書  
b 生活保護 受給証明書

#### ③ 推薦状 1通

※ 推薦者：指導教官 など  
※ 書式は、ホームページより  
ダウンロード可

#### ⑥ 成績証明書 1通

※ 3カ月以内に発行されたもの

#### ⑦ 合格通知書(コピー)

※ 2018年度 入学者予定者 のみ

結果通知：11月下旬

#### 面接審査

※ 都内会場にて実施予定。(交通費支給)

12月中旬

※ 入学予定校に不合格だった場合は再選考

結果通知：2月中旬

## 支援生に選ばれたら・・・

以下の行事などにご参加いただきます。

8月頃 夏の宿泊研修会

11月頃 エッセイの提出

2月頃 研究報告会での個人発表

社会福祉法人さぽうと21

「坪井一郎・仁子学生支援プログラム 受付係」

〒141-0021

東京都品川区上大崎 2-12-2 ミズホビル 6階

TEL：03-5449-1331 / Email：info@support21.or.jp

(対応時間：平日 午前10時～午後6時)